

【Asprova パートナーレポート】 トーテックアメニティ株式会社

2011年2月1日作成

製造業のメッカ！中部地区で Asprova を中核とした製造ソリューションを展開

中部地区は、自動車産業・工作機械産業・航空宇宙産業など我が国における製造業のメッカと言われています。トーテックアメニティ株式会社は（以下、トーテック）、この製造業のメッカで設立し、40年間に渡り製造業のお客さまに生産管理システムを中心とした製造ソリューションを提供してきました。

同社の高い提案力と技術力、きめ細やかなサポートはお客様から高い評価を得ています。「ますます増加する Asprova ビジネスの体制強化を図りながら、多種多様なお客様のニーズに対応しています」と語るのは、Asprova ビジネスの推進役を担っている、同社 産業システム事業部の生産管理エキスパートである水野氏。Asprova との出会いや事業拡大に至る経緯、そして同社の今後の展望などについて話を伺いました。



本社（名古屋）

Asprova は生産計画業務における課題解決の明確な解



産業システム事業部 産業営業部
第2営業グループ エキスパート
水野 克己 氏

「多品種少量化に対応したい」、「全体最適を図りトータルスループットを最大化したい」、「属人化された計画業務を標準化したい」、「短納期対応と在庫削減を両立させたい」。国内だけではなく、海外との競争が激化する現在において、製造業のお客さまは差別化を実現するために様々な改善活動を実施されています。

トーテックは中部地区を拠点として、40年間に渡り製造業のお客さまの様々なニーズにお応えするために、生産管理システムを中核とした IT サービスの提供を行ってきました。しかしながら、生産計画業務においてシステムが立案する計画と実際の作業との乖離という問題への対応は長年の課題でありました。

「生産管理においては、実現可能性のある計画を立案し、工場関係者全員が計画に基づいて統制をとれた生産を行っていくことが重要であると考えています。Asprova との出会いは、生産計画業務での課題における明確な解を得たと考えています」と、水野氏は当時を振り返ります。

設備能力、金型などの副資源、能力を加味した人員計画、段取り時間の考慮など、実際にやりきれない計画を立案することで、工場全体のスループットの向上が実現できます。

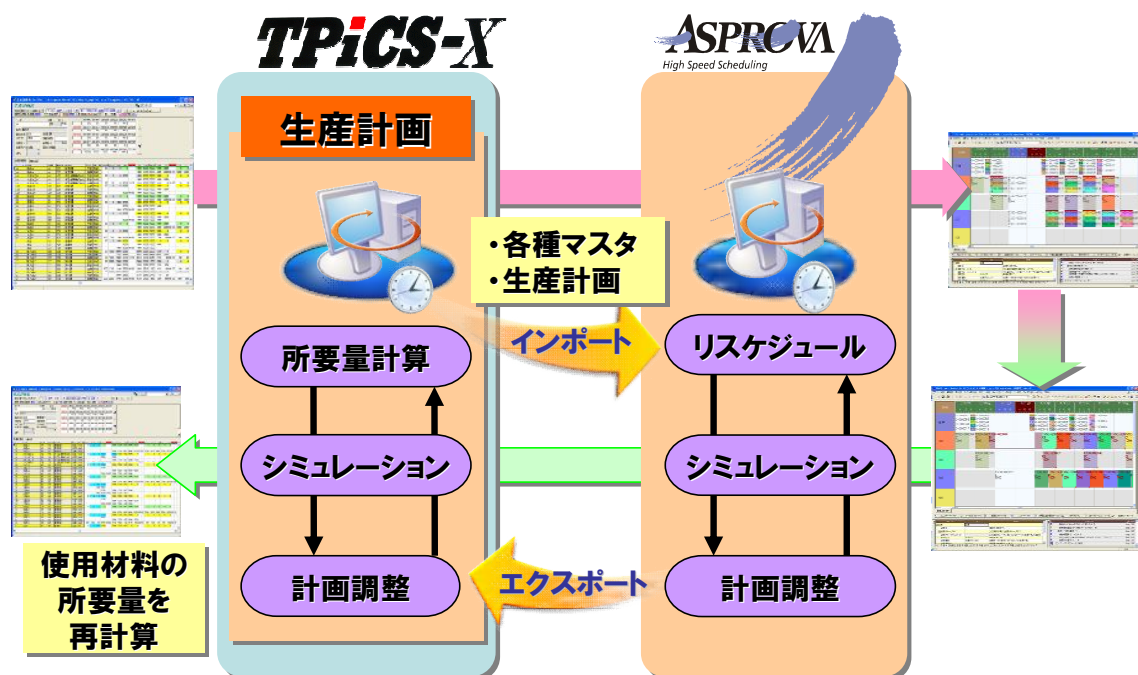
同社が今まで培ってきた生産管理システムの構築ノウハウと Asprova との連携によるシナジー効果により、お客様にとってより付加価値の高いご提案が可能となったのです。

生産管理システムと Asprova の連携により、変化への柔軟な対応を実現

トーテックは Asprova ビジネスを手掛ける以前より、生産管理システム「TPiCS-X」を主力ソリューションとして展開してきました。TPiCS-X のコンセプトは「変化への柔軟な対応」です。

「生産管理業務とは、会計システムなどとは異なり、将来に対するマネジメントとコントロールを司ることです。そのため、様々な外部要因により変更を求められることばかりです。例えば、原材料の納入遅れ、設備の故障、作業者の欠員、特急オーダーなど、当初立案した計画通りに進むことはまずありません。これらの外部要因を所与の条件とし、その変化に対していかに迅速かつ柔軟に対応するのが生産管理では求められます。

さらに、多品種少量生産が当たり前となった現在では、小ロット生産とそれに伴う段取り替えの増加に対応しながらも、お客さまが要求する短納期に対応することが求められます。そのような厳しい要求に対応するためには、人や設備などの生産要素を加味した実現可能な小日程計画を迅速に立案することが必要となります」



TPiCS-X の強力な MRP 機能と Asprova の高速スケジューリング機能の連携により、何度でも計画をシミュレーションでき、変化に柔軟かつ迅速に対応することが可能です。必要な時に必要な調達・作業を実施する計画を立案することによって、キャッシュフローが改善すると共に、稼働率の平準化を図ることも可能となります。

「Asprova は他システムとの連携を実現するインターフェースを標準で実装しているため、

販売管理や実績収集といった実行系システムとの柔軟な連携を実現できます。そのため、当社が保有する生産管理に特化したイージーオーダー型テンプレート『PI-navi』との連携も簡単に実現することができました。

当社の製造ソリューションのラインナップに Asprova を加えたことにより、製造業のお客さまに、より付加価値の高いサービスを提供することが可能となったのです」

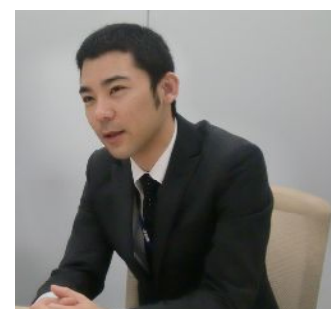


個別受注生産における生産スケジューラ導入事例（小林クリエイト株式会社様）

小林クリエイト様は、愛知県刈谷市に本社を構える国内でも屈指の総合印刷メーカーです。お客さまからの様々な個別帳票の依頼に対し、高品質な製品を迅速にご提供できることが強みです。

小林クリエイト様では、製品カテゴリにより事業部門毎に個別の生産管理を行っていました。しかしながら、部門間を連携する製品の増加に伴い、部門間の迅速な調整を可能とするトータルな管理体制の構築が喫緊の課題となっておりました。課題解決のためには、新体制構築と共に、業務を支える基幹システムの再構築も必要となり、15年以上前から導入されていたスケジューラの刷新を含めて生産管理システムの再構築を目的にしたプロジェクトを立ち上げられました。

「スケジューラの選定においては、既存のスケジューラメーカーを含めて3社での競合となりましたが、Asprova を採択していただきました。Asprova を選定していただいた要因としては、Asprova の機能面での優位性に加え、当社のサポート体制や内容をご評価いた



産業システム事業部 第1システム部
第1グループ チームリーダー
青木 洋匡 氏

だいた点があげられます。当社は愛知県名古屋市に本社を構え 10 名以上のアスプローバ・エンジニアを有しているため、迅速かつ高品質なサービスの提供が可能な点を高くご評価頂きました」と、Asprova の技術部隊を牽引する青木氏は語ります。

こうしてスタートしたプロジェクトはお客様との二人三脚で進められていった。

「導入期間については、2010 年 1 月より生産管理システム再構築全体の要件定義を開始し、4 月からの実装を経て、9 月に本稼働を迎えました。3 拠点への同時導入を実質 6 ヶ月間で実施するというタイトなスケジュールでしたが、小林クリエイト様の多大なるご協力もあり、無事に当初予定通りのスケジュールで立ち上げることができました。

導入に際しては、① 100%受注生産のため受注単位で行われる設計情報の Asprova への迅速な連携 ② 段取時間短縮化のための効率の良い作業順での計画立案 上記 2 点の検討、実装に時間を要しました。①に関しては、当社にて設計データから Asprova の BOM 情報への変換をアドオン機能で開発し対応しました。また、②に関しては、小林クリエイト様にて、それまで属人化されていた作業順設定ルールを標準化して頂き、そのルールを Asprova が装備しているプロパティ設定用の関数を駆使して実現しました」

そして迎えた本稼働。多少の戸惑いはあったものの、両社の創意工夫により大きな混乱を招くことなく無事に運用をスタートしました。

「本稼働当初は、長年使い慣れた旧スケジューラと、Asprova での新たな運用方法との違いに計画担当者の方が戸惑われたことがありました。この点に関しては、タイトなスケジュールということもあり、計画担当者様の運用教育にあまり時間が割けなかった一面もありますが、当社のサポート方法にも改善点があり、当社内でも改善項目として取り組んでいます。

導入後数ヶ月が経過した現在では、計画担当者様も Asprova での運用に慣れ、当初の目的である、部門間連携を含めたトータル管理、計画担当者の負荷軽減（人数の削減）、各種情報の伝達リードタイムの短縮化等で効果が現れ、Asprova の導入効果を高くご評価頂いています」

こうして、トーテックは Asprova 導入においてお客様の高い評価と信頼を得て、生産管理システム再構築の第二弾プロジェクトにも参画することになりました。

「現在、当社では、小林クリエイト様と同様な生産形態である個別受注生産をされている企業様から多く引合いを頂いております。小林クリエイト様での実績を当社の強みとして、受注生産形態の企業様はもちろん、生産形態、生産品目の枠に囚われず、幅広い業種の企業様への Asprova の適用に取り組んでいきたいと思っております」と、成功ノウハウを基にした新たな局面に意欲的に取り組まれています。

「生産管理システムであればトーテック」を目指して中部から全国へ



執行役員
産業システム事業部長
伊東 彰 氏

産業システム事業部長の伊東氏は、今後の展望について次のように話します。

「おかげ様で、当社では現在 Asprova を中核とした製造ソリューションビジネスが大変な活況を奏しています。これは、競争が激化する製造業の皆様が、他社との差別化を図るために、Asprova が強力なツールであると認識されていることに起因していると考えています。

当社では、今後も Asprova を製造ソリューションの中核として位置づけ、Asprova の技術者育成に継続して取り組んでいます」

トーテックは 2011 年 1 月現在において、Asprova の認定資格者である APT 認定者は 20 名、上位資格であるシニア APT 認定者は 3 名在籍しています。これはアsproバ社のパートナーとしては最大規模の陣容となります。

最後に伊東氏は次のように締めくくります。

「今後も体制の強化を継続し、増加し続ける Asprova ビジネスに対し、高い品質のサービスをご提供することを目指してまいります。『生産管理システムであればトーテックに相談しよう』と、製造業のお客さまに認知していただけることを目指し、中部地区で培ったスキル・ノウハウを基盤として、全国の製造業様にサービスをご提供してまいります。これからは製造業のお客さまの生産性向上のために、質の高い IT ソリューションの提供でご支援していきたいと考えています」

企業情報

社名 : トーテックアメニティ株式会社

所在地 : 名古屋市西区名駅二丁目 2 7 番 8 号

URL : <http://www.totec.jp/>

TEL : 052-533-6905 (産業システム事業部)

Mail : sangyo@totec.co.jp

設立 : 昭和 46 年 5 月 20 日

事業内容 : システム設計、各種アプリケーション開発、ネットワーク構築・運用・保守、
インターネット導入サービス、自社商品の開発・販売 ほか

従業員数 : 1483 名 (2010 年 12 月末現在)